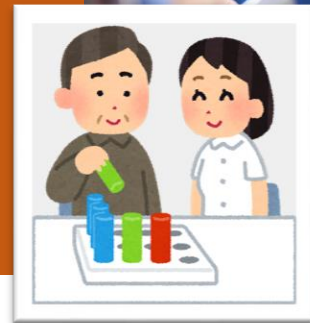




認知症ライフパートナー検定試験

3つのメリット

認知症ライフパートナー検定試験の導入による取得メリットをご提案いたします。



1 現場で役立つコミュニケーション手法が身につく

作業療法士の資格を持ち、現場で活躍されている専門職の方でも、認知症の患者さんとの接し方に苦勞される話をよく聞きます。この検定の学習を通じて、うまくコミュニケーションをとる手法を学ぶことができます。

当協議会へ寄せられた声

同じような認知症の検定がいくつかあるが、作業療法士の先生の監修した事例が多く載っているの、頭に入ってきやすかった。

40代 男性 作業療法士



2 作業療法士に適した知識を学習できる

検定試験の公式テキストの執筆者には、作業療法士の先生方に多く入っていただいています。作業療法士として、今まさに学ぶべき認知症の知識にフォーカスして学習することができます。さらに、検定試験を受けることで学んだ知識の確認ができ、資格も取得できます。

認知症の人と接する時に、どうしたらよいか分からず戸惑うことがあったが、テキストの内容を参考にして、自信をもって対応できるようになった。

20代 女性 作業療法士



3 実践的なアクティビティを学び、活かすことができる

認知症ライフパートナー検定の一番の特徴は、「アクティビティ・ケア」を学べるところにあります。公式テキストには、料理、園芸、音楽、手工芸など、さまざまな種類のアクティビティの実践例が掲載されています。実際に施設等でどう実施したらよいか、そのヒントを学び、活かすことができます。

公式テキストの内容を参考にして、実際に自分の施設でも、音楽と園芸のアクティビティ・プログラムを実施してみました。利用者さんにとっても好評でした。

30代 女性 作業療法士・病院勤務



「認知症ライフパートナー検定試験」についてご興味のある方には、更に詳しい資料をご送付いたします。同封の資料請求書をご郵送・FAXいただくか、当協議会ホームページよりお申込みください。お電話でも受け付けております。お気軽にお問合せください。